

ホットドリンクの飲用実態と今後のニーズ（第12弾）

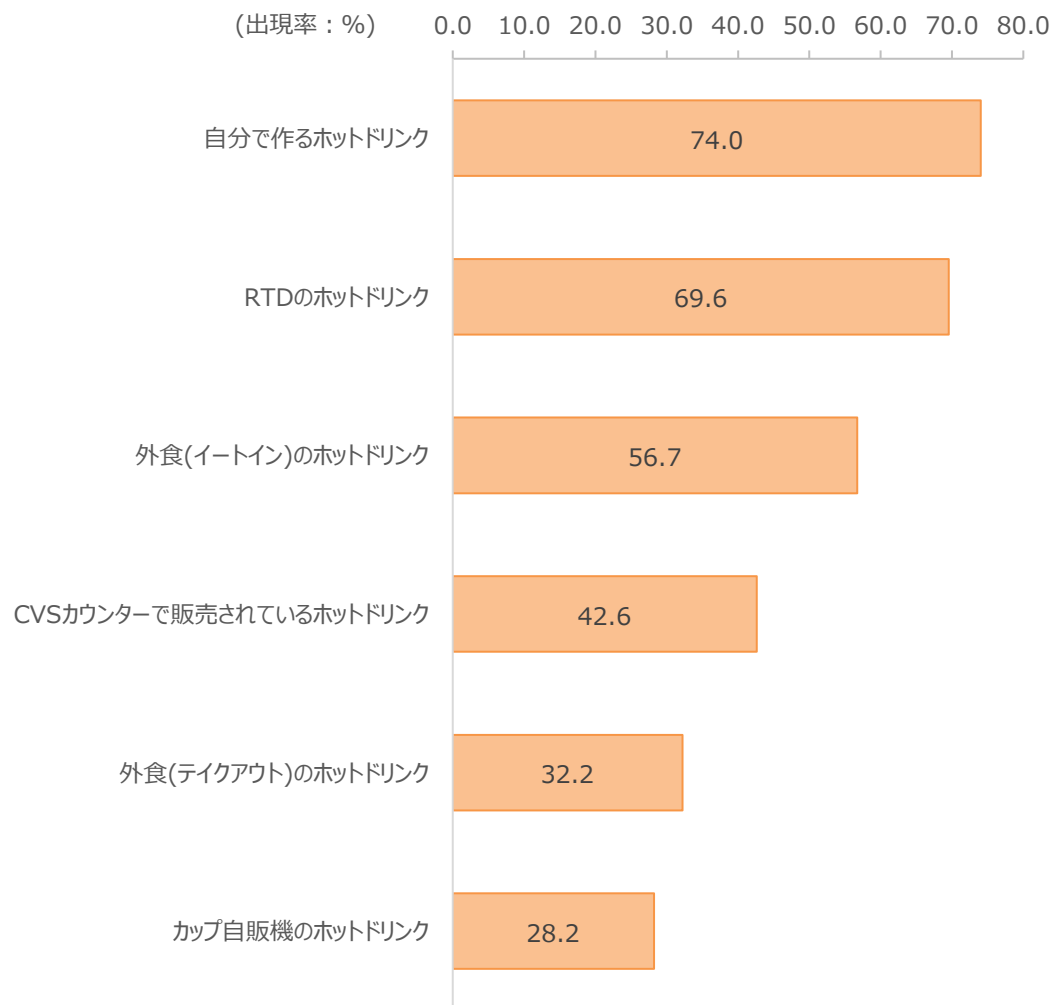
ーサンプルー



この冬のホットドリンクの飲用状況

この冬のホットドリンクの飲用経験率

【全体：N=624】

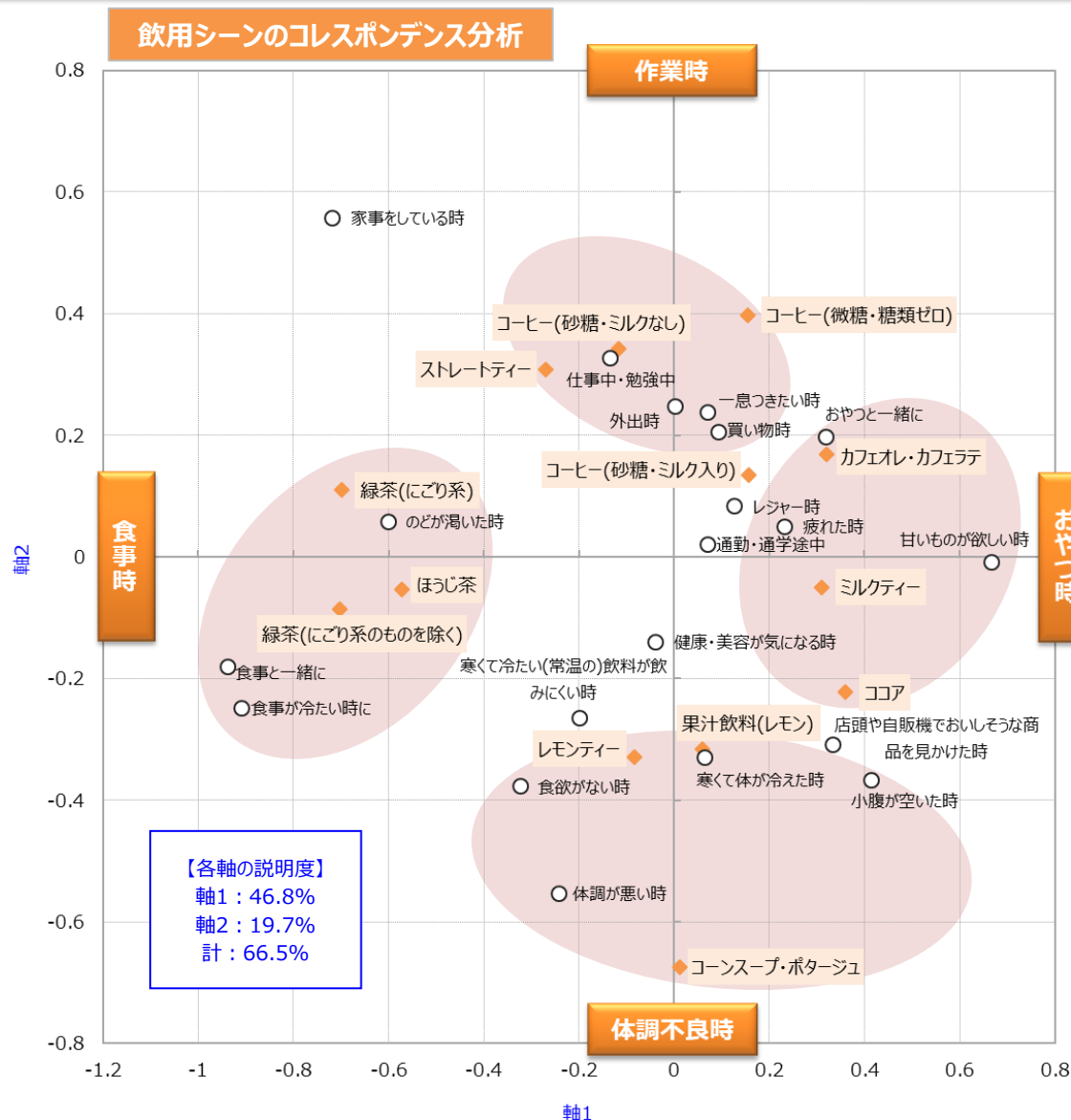


Qあなたは、この冬（2019年11月以降）にホットドリンクを飲みましたか？それぞれ該当するものをひとつだけお答えください。（SA）

- この冬のホットドリンクの飲用状況をみると、ホットドリンクの飲用経験率は「自分で作るホットドリンク」が74.0%で最も高く、次いで「RTDのホットドリンク」が69.6%、「外食(イートイン)のホットドリンク」が56.7%が続いています。
- つまり、全体の約7割の人がこの冬にRTDのホットドリンクの飲用していたことがわかりました。
- これを性年齢層別にみると、RTDのホットドリンクの飲用経験率は「20代前半層」で80%台、「20代後半層」で76%台とより高いことがわかりました。

当レポートでは、RTD以外のホットドリンクについても、男女別や年代別、性年齢層別でデータを分析しています。詳しくは製品版をご確認くださいませ。

ホットドリンクの飲用シーン



Q あなたがホットドリンクを飲むのは、どのようなシーンが多かったですか？この冬に飲んだホットドリンクの種類ごとに、それぞれお答えください。(MA)

- この冬に飲まれたRTDのホットドリンクが種類ごとに、どのようなシーンで飲まれているのかをコレスポンデンス分析したところ、大きく4つに分類されました。
- 具体的にみると、「コーヒー(砂糖・ミルクなし/微糖・糖類ゼロ)」「ストレートティー」は「仕事・勉強中」「外出時」「一息つきたい時」「買い物時」に飲まれていることがわかりました。
- また、「カフェオレ・カフェラテ」「ミルクティー」「ココア」は「甘いものが欲しい時」「おやつと一緒に」「疲れた時」に飲まれるケースが多いです。
- 次に、「果汁飲料(レモン)」「レモンティー」「コーンスープ・ポタージュ」は体調が変化した時に飲まれるケースが多く、「寒くて体が冷えた時」「食欲がない時」「小腹が空いた時」「体調が悪い時」により飲まれていることがわかりました。
- 続いて、「緑茶(にがり系/にがり系のものを除く)」「ほうじ茶」については「のどが渇いた時」「食事と一緒に」「食事が冷たい時に」といったシーンでよく飲まれています。

この他、飲用シーンについては、男女別や年代別、性年齢層別でデータを分析しています。詳しくは製品版をご確認くださいませ。

この冬に飲んだホットドリンクのブランド

Q あなたがこの冬に飲んだホットドリンクは、何という商品ですか。あてはまるものをすべてお答えください。(MA)

- この冬に飲んだホットドリンクのブランドをみると、トップは「お〜いお茶」(伊藤園)で46.8%、2位は「午後の紅茶」(麒麟ビバレッジ)で40.6%、3位は「ボス」(サントリー)で38.0%となりました。以下、「ジョージア」(コカ・コーラ)が36.6%、「伊右衛門」(サントリー)が21.7%、「ワンダ」(アサヒ飲料)が18.4%、「綾鷹」(コカ・コーラ)が17.3%などとなりました。すなわち、上位には茶系飲料や紅茶飲料、コーヒー飲料のブランドが複数ランクインしていることがわかりました。

また、当レポートでは具体的な商品レベルでの飲用率や男女別、年代別、性年齢層別のニーズを分析しています。詳しくは製品版をご確認くださいませ。

この冬に飲んだホットドリンクのブランド トップ10

上位には茶系飲料や紅茶飲料、コーヒー飲料のブランドが多数ランクイン！

【全体：N=434】



お〜いお茶
(伊藤園)
46.8%

特に「層」
「層」でニーズが強い。
商品では「」が
最も飲まれている。

6位



ワンダ
(アサヒ飲料)
18.4%



午後の紅茶
(麒麟ビバレッジ)
40.6%

特に「層」
「層」で
ニーズが強い。
商品では「」が最も
飲まれている。

7位



綾鷹
(コカ・コーラ)
17.3%



ボス
(サントリー)
38.0%

特に「層」
「層」で
ニーズが強い。
商品では「」が
最も飲まれている。

8位



紅茶花伝
(コカ・コーラ)
13.8%

4位



ジョージア
(コカ・コーラ)
36.6%

9位



UCC
(UCC上島珈琲)
13.1%

5位



伊右衛門
(サントリー)
21.7%

10位



ほっとレモン
(アサヒ飲料)
12.2%

この他、前回結果との比較やこれまで実施してきた結果の12カ年比較といった時系列の傾向もレポートしています。詳しくは製品版をご確認くださいませ。

【調査内容】

- 1.RTDホットドリンクの飲用実態・購入実態
- 2.RTDホットドリンクの評価
- 3.RTDと他のホットドリンクの競合状況
- 4.RTDホットドリンクの優位性
- 5.今後のRTDホットドリンクの飲用意向 など

【調査方法】

- WEBによるアンケート調査
- 調査エリア：全国
- 対象：10～60代の男女624サンプル（10代は高校生以上）

【販売価格】

◆ 390,000円＋税

【資料体裁】

調査実査日	2020年2月7日～2月9日
発刊日	2020年3月6日
体裁	A4判カラーコピー製本＋CD-ROM版

【サンプル構成】

男女別	サンプル数
男性	312
女性	312
合計	624

年代別	サンプル数
10代	104
20代	104
30代	104
40代	104
50代	104
60代	104
合計	624



- 1) 本文PDF
- 2) 本文パワーポイント
- 3) データ編（基本クロス集計・単純集計・ローデータ・調査票・FAリスト）

【調査・分析】



www.tpc-cop.co.jp/

TPCマーケティングリサーチ株式会社

〒550-0013 大阪市西区新町2-4-2 SIAなにわ筋SIAビル

TEL：06-6538-5358 FAX：06-6538-6531

フリーダイヤル：0120-30-6531

TPCビブリオテック（online shop）：<http://www.tpc-osaka.com/>



IS 598110 ISO27001